

割込カードの処理についての例

割込カードは表面に記載したルールに従い、必ずカードをめくったプレイヤーから時計回り順に処理をしていきます。例を見てみましょう。



上図はプレイヤー①が「金貨」のカードをめくった時の図です。

この時、誰も「割込む」宣言をしなかった場合は、「金貨」はそのままプレイヤー①のものになります。

対して、もしプレイヤー①が「割り込む」宣言をせず、②から④のプレイヤーが[吸引]のカードを宣言したとしましょう。(吸引は争奪戦中に宣言することでめくられたカードを自分のものにするカードです。)

宣言カードはカードをめくったプレイヤー①から順に表にして効果を発揮しますが、プレイヤー①は今回「割り込む」宣言をしていないので、飛ばします。

次にプレイヤー②が宣言した吸引が効果を発揮し、めくられた「金貨」のカードは②のものになります。続けてプレイヤー③が宣言した吸引が効果を発揮し、「金貨」は③のものになります。

最後にプレイヤー④が宣言した吸引が効果を発揮し、「金貨」は④のものになります。

よって最終的に「金貨」を取得出来るのはプレイヤー④ということになります。

途中で②や③が[反射]や[吸引]を出していたとしてもプレイヤー④が[反射]や[吸引]を出したら、その効果が最終的には適用されます。つまり、カードをめくったプレイヤーの右隣のプレイヤーが一番割込で有利な状況になりやすい、ということになります。

補足ルール

・カードの効果で割込カードを場に伏せるとき

魔法カードの効果で手札、もしくは山札から割込カードを伏せることになった場合、そのカードは場に伏せず、「捨て札」にします。

もし、誰かが間違えて割込カードを伏せてしまい、それを争奪戦中にプレイヤーが場からめくった場合にはそのカードは捨て札にして、もう1枚カードをめくります。

・上記以外の場面で、なにかカードの効果を発揮したいけれども、それを行えない場合

例) 手札が1枚しか無いのに手札を2枚捨てるよう指示された。

こういった場合、まず指定された数を減らしてそれが出来ないかどうかを考えます。

この場合、カードを2枚捨てるのではなく1枚捨てます。手札以外の要素についても同様です。

それでも不可能な場合は効果を無視します。

例えば手札にカードが1枚も無いのに、カードを捨てることを指示された場合などはカードを捨てる効果は無視します。

テクニック

・割込宣言をする際に、魔法カードや宝カードををあたかも割込カードの様に宣言し、伏せることが出来ます。

ただし、割込カード以外のカードは特に効果を発揮せず、そのまま捨て札になります。

一見意味のない行動の様に思えますが、うまく使うことで相手の割込カードを無駄遣いさせたり、割込カードの使用をためらわせたりすることが出来るでしょう。

・自分が全く宝を取れずに勝てそうに無いときも、あきらめないでください。

あなたの周りのプレイヤーで宝ポイントが同じになりそうなプレイヤーはいませんか？

うまく2人のプレイヤーの宝ポイントが同じになるようにあなたが誘導できればその勝負は引き分けに持ち込むことが出来ます。再勝負に持ち込めば、次はあなたの独壇場かも？

処理に注意が必要なカード

・時間飛ばし

宝集中に手番を飛ばされたプレイヤーの手番が飛ぶ前に「争奪戦」が始まっても、手番はとばされず。(そのターンにカードはめくれません。)

偽情報で追加される手番は、時間飛ばしの効果ではとばしません。

もし争奪戦中に偽情報の効果で2枚連続で時間飛ばしを引いたとしても、手番が飛ぶのは一度だけです。

・すり替え

カードは必ず交換しないとけません。

伏せてあるカードをみて、やっぱりやめた、とすることはできません。自分の手札や場に交換できるカードが無いときも、このカードは使えません。

・大放し

宝集中にこのカードを使うと、場に伏せる規定枚数を越えることがありますが、そのまま次のプレイヤーから争奪戦を始めてください。

争奪戦中にこのカードを取得した場合は、「吸引」、「反射」、「無効化」、「偽情報」のうち、手札にあるものを選び、手札にある同名のカードを全て捨て札にします。

・無効化

カードに記載してあるとおり、同じ手番中に2枚このカードが出ても、1枚目の無効化の効果が打ち消されることはありません。

左図で言えばプレイヤー①(カードをめくったプレイヤー)が無効化を宣言した場合、②から④のプレイヤーが無効化を宣言しても効果を発揮できません。

・偽情報

偽情報の効果も無効化で打ち消されます。

宣言するタイミングに気をつけましょう。

もし偽情報が2枚同時に出了た時は、時計回り順に効果を発揮していきます。

もし左図の状況でプレイヤー②と④が偽情報を宣言した場合、まず②の宣言した偽情報が効果を発揮し、今回カードをめくったプレイヤー①は手番終了後、②の指定したカードをめくります。

そして通常の手番同様、割込宣言を行い、カードの取得を行います。

その後、①は④の指定したカードをめくり、また通常の手番同様に手順を行います。

もし②が指定したカードを①が引いた際の割込宣言中に③が偽情報を出した場合、④の偽情報を処理した後に③の偽情報を処理します。あくまでも出された順、時計回り順に効果を発揮してください。

カード内訳

全60枚のカード中

魔法カード：全6種類、各4枚ずつ 合計24枚

割込カード：全4種類、[吸引][反射]、各8枚
[無効化]4枚、[偽情報]3枚
合計23枚

宝カード：[金貨]7枚

[古代の財宝]4枚

[エミニットの秘宝]2枚

合計13枚

制作：BLUE HOUR GAMES

URL:<http://www.bluehourgames.com>

Mail:mail@bluehourgames.com

デザイン&イラスト：みら & BHG

ルールデザイン：エンドーケンタ